

今回ご紹介するのは、池田中学校手芸部です。手芸部といっても有志で集まった仲間が活動しています。



部長紹介

手芸部の部長小林瞬です。ムードメーカーでみんなのまとめ役、細かく、丁寧な作業が得意です。僕たちのこれまでの活動を紹介します。

活動紹介

2、3年生を中心に制作活動を行っています。牛乳パックを再利用したエコクラフトバンドでかごを編んだり、水引きかざりを作ったり、イラストを描いたりしています。はじめのうちは出来上がった物を学級や、先生たちにプレゼントしていました。喜んでもらえ、「今度はこんなものを作ってほしい。」と注文を受けるうちに、もっとたくさんの人に見てもらいたいと考え、道の駅やフリーマーケットでの販売活動を行ってきました。



福祉フェア

福祉フェアでは、開店準備中からたくさんのお客様が見に来てくださり、商品を手に取っていただけました。あたたかい声をかけてくださる池田中の先輩たち、たくさん購入してくださる方たちのおかげで、午前中には完売となりました。自分たちが作ったものが売れていくのがとてもうれしかったです。

新商品紹介

鉛筆立てやミニかごなどの他に、福祉フェアに向けて蓋付きのかごや水引き、造花などの新商品も作りました。特に水引きをつけたかごはよく売れました。また「勤めている保育園の園児に見せたい」と、車の装飾をしたかごを喜んで買ってくださいる方もいました。今はミニバスケットなどの新しいかご作りにどんどん挑戦しています。



色もいいし、使い心地も最高です。もうひとつ欲しいです。



鉛筆立てや、蓋付きのかごなど、校長室に飾ってあります。



今回の新商品です。

福祉フェアでは、お買い上げいただきありがとうございます。手芸部での経験を今後の学校生活に生かしていきたいと思えます。

これからの活動も頑張りたいと思えますので、よろしく願います。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。

おだやかな三が日は裏腹に、円高と株価急落で「平成最後の年」がはじまりました。

今年は町長・県議会・参議院選挙と12年に一度の「亥年選挙」年です。新元号「令和」も新天皇即位など新時代の幕あけを予感させますが、慌ただしい年となりそうです。

なお、亥年は、「亥固まる」といわれ堅調のようですが、関東大震災(1923年)や阪神淡路大震災(1995年)も亥年であり、日頃の用心も大切です。景気拡大は、1月で戦後最長との観測ですが、成長率は1%台と実感はありません。

国際情勢、少子高齢化、人口減少、格差拡大など課題は山積しています。また防災・減災対策やインフラ整備も急がれます。第6次総合計画(2020年)は、「安心・安全」をめざし町民全体での取組が必要です。町民の皆様にとりまして、本年が幸多き年となることをお祈り申し上げます。

(議会広報委員 森政郎)